

THE WEEKLY NEWS

2021～2022年度

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

国際ロータリー
第2790地区ガバナー 梶原 等

第6グループガバナー補佐 亀田 美穂

鴨川ロータリークラブ

会 長 篠 寄 忠 昭

副 会 長 藤 代 茂 和

幹 事 斎 藤 英 之

会 報 羽 鳥 鋭 一



一 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

No. 2738 (14) 2021年10月26日

＝今週のプログラム＝

10月26日 振替休会
31日地区大会の為

＝次週のプログラム＝

11月2日 会員卓話

例会日 (火) 12:30～13:30
例会場 鴨川シーワールドホテル

事務所 〒296-0001 鴨川市横渚697 伊藤胃腸科クリニック内
URL <http://www.kamogawa-rc.com> TEL・FAX 04-7093-2001

第14回 例会 報告

日 時：令和3年10月19日 12:30～

- 1、点 鐘 会長 篠寄忠昭
- 2、ロータリーソング「それでこそロータリー」
- 3、ビジター紹介 会長 篠寄忠昭
第2790地区 2021-22年度ガバナー
梶原 等 様
第6グループガバナー補佐
亀田 美穂 様
第6グループ幹事
島田 誠一 様

- 千葉ロータリークラブ
南 慎一郎 様
千葉ロータリークラブ
中村 昭彦 様

- 4、会長挨拶 会長 篠寄忠昭
- 5、幹事報告 幹事 斎藤英之
- 6、ガバナー卓話 梶原 等 様
- 9、出席報告 長谷川治夫 会員
- 10、点 鐘 会長 篠寄忠昭

会長挨拶

会長 篠寄忠昭



10月10日に行いました、ロータリー奉仕デー「地球環境保全プロジェクト」

前原海岸清掃の記事が房日新聞に掲載されていました。新聞を見た数名のお客さんから「ロータリークラブで海岸清掃をしたんだね。」など、声をかけてもらいました。

改めてマスコミの力の大きさを感じさせられました。「ロータリークラブって何をしてるの?」、よく聞く言葉です。

ロータリークラブが奉仕団体であることは皆さんもよく知っています。

では具体的に何をしているのか。

鴨川市サッカー協会、ボーイスカウト、鴨川少年少女合唱団などに活動費の支援をしています。でもそれを知っている人は関係者の人達だけではないでしょうか。

鴨川市民の皆さんにもっとロータリークラブを知ってもらうには目に見える奉仕活動を増やしていくことも必要です。

ロータリーを知ってもらい、一緒に奉仕活動ができる仲間が増える事を期待します。

* 出席報告

出席免除会員 …… 4名

例会日	会員総数	出席	M.U	出席率(%)
10月12日	30	19	4	82.14%
10月19日	30	20	5	86.21%

▶第2790地区 2021-22年度ガバナー 梶原 等 様 卓話 (千葉ロータリークラブ)

2021-22年度 第2790地区ガバナーを拝命しました梶原等と申します。

千葉RCに所属しております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年度はグループ再編の件、ガバナー補佐選出の件で地区内のクラブの皆様をお騒がせしました。唐突な話であったことに改めて反省しお詫び申し上げます。

又、その再編等に関してご理解を頂きました皆様には改めてお礼申し上げます。

今年の1月に地区リーダーシッププランDLP特集号を月信で発行しました。

ここで改めて地区のリーダーシッププランについて話をさせていただきます。

それでは、2790地区の歴史を振り返りましょう。

当地区は1951年、東京RCをスポンサーとして千葉RCが設立され、その後県内各地にクラブを作り展開してきました。

それから70年が経過しました。会員数のピークは1997年に4337名を数え、クラブ数ではちょうど2000年に85クラブが存在しました。今はどうかと言いますと2021年7月1日現在、会員数は2665名、クラブ数は82クラブです。

この一年で60数名の退会がありました。そこで地区は戦略計画委員会を立ち上げ、ガバナー、エレクト、ノミニ、デジグネート、更には直近のpastガバナーとでメンバーを構成しました。

地区事務所の課題や、グループ再編の件、あるいは地区として取り組むべき各種プロジェクトについて話し合っ方向性を検討しています。

地区としての課題は何と言っても各クラブの会員数の維持拡大とクラブの強化です。

それには地区リーダーシッププランDLP、クラブリーダーシッププランCLP、クラブ戦略計画や地区戦略計画があります。

昨年より引き継いだ課題にはガバナー補佐の負担の標準化やグループ再編、ガバナー補佐任命に関する事です。昨年は周知不足により大きな混乱になり、グループ再編は延期に、そしてガバナー補佐の選出に関しては課題が残っています。

そして、地区グループの再編会議では今年度中に具体的な案を示し、それを各クラブへ周知し、具体的なアクションに結びつけるための準備をします。

そして2022-23年度には地区内へ周知し、広域的なクラブ間の交流を図ります。2023-24年度には再編実施に向け一定の方向性を示します。具体的には地区内を4つのブロックに分け、ガバナー補佐同士が横の連携を取りやすくすると共にそのことによりガバナーとの綿密な連携にもつながりその事からクラブの活性化にと役立てていきます。

又、ガバナー補佐の選出がもっと自由に柔軟になる事が望まれます。これらを今年度各クラブともう一度協議して参ります。

それでは、地区リーダーシップ・プランを確認しましょう。

DLPには以下の役職者に明確な責務と任務があります。「ガバナー補佐」「研修リーダー」「地区委員長」「クラブリーダー」DLPによればガバナー(エレクト)は、ガバナー補佐を任命しそのガバナー補佐が担当するクラ



ブを決め、そのクラブ群をグループと呼びます。

ガバナーに変わって担当するグループ群のゼネラル マネージャーRIや地区の意向などを具体的に各クラブへ向けて発し、サポートすることが役割です。

ガバナー補佐の役割(ミッション)とは……

1. 会員増を見据えた会員拡大計画(戦略)を具体的に
2. 財団・米山への寄付地区目標に関する対応と周知徹底
3. クラブ奉仕プロジェクトについて具体的サポート
4. 中期・長期計画(クラブ戦略計画)の策定
5. 例会の出席率向上・クラブ会員基盤の向上
6. 女性会員・ローターアクター等の交流活性化
7. クラブの長所(注目ポイント)を強化します!

これらが、ガバナー補佐の役割です。

そして、2021年度ガバナー補佐の方々には以下の事を依頼しております。

1. ロータリー地区情報研究会
新会員に職業奉仕を示しましょう!
2. IMは会員基盤向上セミナーとして奉仕プロジェクトや会員増強のインパクトのある事例を皆で学びましょう(2つ以上のグループで広域的な集まりを!!持っていたきたい)
3. 環境保全プロジェクト・ポリオ根絶及びコロナ終息祈願プロジェクト等・ロータリー広報公共イメージのPRも兼ねて地区としての奉仕プロジェクトを実施して参ります。

そして、2021-22年度 2790地区 スローガンを以下の様にさせていただきます。

昨年度はグループ再編の件や、ガバナー補佐選出の件で地区の中が殺伐とした空気がありました。話が唐突であった等、もう少し相手の立場に立って物事を考え行動すればそのような事にはならなかったと反省しております。愛情をもって接するという事を今一度見つめ直す意味でも、愛他精神、愛他主義である。

“Love Other Spirit”

を地区のスローガンとさせていただきます。

そしてサブタイトルとして、

～繋ごう次世代へ夢のある未来に向けて～

とさせていただきます。

私達ロータリアンも次の世代にロータリーを渡していかなければなりません、受け継ぐ将来のロータリアンに対して、夢を語らなければなりません、夢ある未来を見せてい

かなければなりません。健康で安全な地球を、地域を次の世代に渡していかなければなりません。それが出来るのが私達ロータリアンです。そんな思いを合わせてスローガンとさせて頂きました。

それでも、ロータリーの基本は職業奉仕です！ service です。

しかし今はTAK・ACTIONの時代になりました。

ベテランのメンバーは若いメンバーには職業奉仕を伝え若いメンバーはベテランメンバーにTAKE・ACTIONを理解してもらってください。その事がロータリーを輝かせ次の世代に繋ぐ事に結びつきます。

此处で私の職業奉仕の話をさせて頂きます。私の職業は建築設備設計です、ここ数年はロータリーかもしれませんが……。ロータリーで培った経験が今に生きています。私がロータリーに入会した当時先輩ロータリアンを見て私も将来は先輩ロータリアンの様に業界団体の役職を受け自らの職業の更に延長線上で活動していきたいと思いました。

このロータリーで学ぶことにより、会社の若い社員を育てることに繋がり業界団体の役職を受け、県や国との連携も図れる仕事出来るようになりました。これらはほぼ同業・近い業種のクラブの先輩が背中を見せてくれたからです。職業でも次の世代に繋ぐ為に奮闘中です！

さて、話は変わります。私達ガバナーはガバナーに成る為の最後の研修である国際協議会へ参加します。

その国際協議会場入り口の懸垂幕の標語です。

以前は、

「ENTER TO LEARN GO FORTH TO SERVE」

(入りて学び、出でて奉仕せよ)

(1947-48年度S.ケンドリック ガーンシーRI 会長テーマ)

と記されていました。

私はコロナ禍の為にアメリカには行けず、バーチャルでの国際協議会でしたが、バーチャル上のステージにも

「JOIN LEADERS EXCHANGE

IDEAS TAKE ACTION」

(リーダーたちが集まり、アイデアを出し合い、

社会のために行動しよう)

今はこの様に大きく変化してきたのです。

改めて、国際ロータリーはロータリーのビジョン声明を発表しています。私たちロータリアンは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します。

そしてロータリーの戦略的優先事項と目的は以下の通りです。

1. 「より大きなインパクトをもたらす」
2. 「参加者の基盤を広げる」
3. 「参加者の積極的な関りを促す」
4. 「適応力を高める」



その為には“大きな意識改革”が必要なのです。

大きな変化と言えば昨年12月の事です。国際ロータリーが組織改革の発表をしました。いつの間にか国際ロータリーも組織運営の在り方を見直す時期に来たようです。100年続いた地区制度を刷新する様子

Shaping Rotary's Future

“SRF”ロータリー未来形成

2018年7月にSRF委員会が発足。2020年12月に発表され2030年から改編案実施予定です。

具体的にははっきりしたことは解りませんが以下の事が発信されています。



国際ロータリー“未来形成”(SRF)について

国際ロータリーは100年以上続いた地区制度を見直し、言語圏や文化圏等に分割した約40のリージョン(Region)に分かれ、1リージョンには、30~40セクション(Section)世界に1500のセクションが生まれまるといふことなのです。

構想・日本には102のセクションが生れる予定です。セクションにはセクショナルリーダー(任期は2年で、選挙で選出します)リージョンにはリージョンカウンスル(任期は3年で、選挙で選出します)このように大きく変化する様です。詳しいことがわかりましたら改めて通知します。

時代は変革期を過ぎ、既に新しい時代へ突入しております。ロータリーも新しい変化に対応していかなければなりません。時代の先を進まなければなりません。

次の世代に夢を繋いでいくのは“Mover'S(変革者)”である私達ロータリアンなのです！此处で改めて確認です。

ロータリーの本質は?(service fellowship)親睦と奉仕。

私達が向かう先は?どこでしょう。輝く未来でなければなりません。

本質は決して忘れず、形の変化は恐れずに柔軟に！

(多様性：Diversity)

胸を張って“ロータリアン”として活動しましょう！！

地域に頼られるロータリーになりましょう！

多様性：Diversity

公平さ：Equity

開放性：Inclusion をもって、流石ロータリー、ロータリーって言われる為に！

高潔性：Integrity を大事にしましょう。

そして個々のロータリアンが私の職業奉仕を語りましょう。語り合ひましょう。

そして伝えましょう！

4面へ続く

流石ロータリアンって思われる様に自信をもって行動しましょう！

更に基本となるクラブは、R I や地区の変化に対応できる事です。

自立したクラブである事です。組織の変化に柔軟に対応できる事です。

各ロータリアンはロータリーの基本理念である SERVICE を実践する事です。

今年度国際ロータリーのテーマです。

2021-22 国際ロータリーテーマ

SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しようみんなの人生を豊かにするために

です。

シェカールメータ会長はこの様にメッセージを発信しました。奉仕とは自分が住むこの空間に支払う賃貸料であると。

Serve is the rent I pay for the space I occupy on this earth

Love for others 他の人の為に生き

Care for others 世話をし

Serve others 奉仕する事です。

ヴィヴユーカーナンダ インドの宗教家

誰かを助ける時その人に恩を施しているとは考えないでください。実際にはその人たちがあなたに恩を施しているのです。

私たちが世界から預かった恩恵への恩返しの機会を与えてくれている。

人生では与えるもの、“つかえる者”になりなさい。

与える時もつかえる時も常に謙虚であり“与えさせて頂けますか”“つかえさせて頂けますか”とお願いをする

気持ちになりなさい。

誰かの為に生きてこそ人生は価値がある。

Only a life lived for others is a worthwhile と仰っています。

そして以下のプロジェクトにチャレンジします。

一つは会員増強です。

Each One Bring One つまり会員一人が一人を入会に導きましょう。目標は、120万人⇒130万人へ17年間で達成。できなかった事をこの1年間で達成させるというビッグプロジェクトです。

そして、女兒のエンパワーメントです。世界の中には女兒という事で差別や不利益を強いられている。女子の教育、健康、経済的発展のスキルを与えましょう。女性ロータリアンの活躍が国際社会を変えていきます。

日本のロータリーは女性メンバーにもっと機会を与えましょう。

3つ目は“ロータリー奉仕デー”です。2つ以上の RC、RAC、IAC が参加し25%は、市民団体や地域の人々の参加を促す。ロータリー7つ重点項目で奉仕活動をお願いします。

最後にもう一度シェカールメータ会長の言葉を確認します。

船は港に居れば安全です。船の目的は港に居る事ではありません。大海に出てこそ船の目的が成就されるのです。変革者である我々は冒険でありメンテナンスではありません。

私達は奉仕し、みんなの人生を豊かにするためのパワーと魔法を持っています。

TAKE · ACTION & CHALLENGE

1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



* 幹事報告 … 幹事 齋藤英之

1. ハイライト米山が届いております。
2. ガバナーエレクトより次年度地区委員 推薦のお願いが届いております。
3. 東京西RC辰野様より10月22日、日本経済新聞に日本のロータリー 100 年を迎えたことを機にロータリーの PR 広告掲載のお知らせが届いております。
4. 風の便りが届いております。
5. コーディネーターニュースが届いております。

